

Smile Aligner

スマイルアライナー・スタンダードおよびスピード

(成人もしくは永久歯列用)

マウスピースの装着と取り扱いについての注意事項

必ずお読み下さい！

I はじめに

- ① 下図のようにマウスピースが小分けの袋の中に入っています。袋には入口の反対側の角に番号が記載されています。



- ② マウスピースによる歯列矯正治療は、マウスピースを患者さんご自身で交換していただくことにより歯が移動します。くれぐれもマウスピースの順番と交換の日を間違えないようにして装着して行って下さい。
- ③ スタンダードタイプとスピードタイプは、1)一回(マウスピース1組)あたりの歯牙の移動量、および2)一日に必要な装着時間(後述)が異なります。スピードタイプの方がスタンダードタイプよりも一回あたりの移動量が多くなっています。
- ④ スタンダードタイプおよびスピードタイプとも、原則として**2週間もしくは3週間に1回**、番号順に装着し、交換して下さい(状況により1週間交換、もしくは4週間交換を併用する場合があります)。ただしマウスピースの番号ごとに交換していただく日数が異なる場合には、各番号ごとの装着日数をラベルに記載しておりますので、それに従って下さい。**一日の装着時間は必ずお守り下さい。**歯を動かす力が加わるのはマウスピースを装着していただいている間だけです。装着しないと歯は動きませんし、一日の**装着時間が短いと、装着していない間にいわゆる「後戻り」が生じ、歯が適切な位置まで移動しません**ので、所定の装着日数が経って次の番号のマウスピースを装着しても入らない恐れがあります。この場合には、所定の装着日数よりも長く装着していただく必要が生じるため、

結果として治療期間が延長することになります。

II マウスピースの着脱方法、装着時間、交換日等

- ① マウスピースを挿入する角度があります。基本的にはなるべく歯に垂直に入れましょう。装着の際には歯の面にマウスピースを沿わせておいてから、必ず両手の指で歯に対して垂直に押し込んで下さい。特に歯並びがまっすぐではない場所や、歯の傾きが著しく異なる部位は、マウスピースを装着する際、装着しにくい場合がありますが、できるだけ歯に対して垂直に入ると入ります。もしそれでも装着しにくい場合には、歯列の片側を先に入れておいてから、もう片側を動かした上で、押し込んで装着していただいてもかまいません。
- ② マウスピースを咬み込んで装着することは絶対におやめ下さい。咬み込んで装着してしまうと、マウスピース素材の劣化や変形が起こり、適切な位置まで歯が移動できなくなりますのでご注意ください。
- ③ マウスピースを装着後、少しマウスピースが浮く場合がありますが、時間がたてばピッタリと歯にフィットしてきます。歯の移動の方法によっては少し浮き上がったままのこともあります。なおむね2mm程度までであれば許容範囲です。
- ④ 取り外しの際には、親指と人差し指にて垂直に真上に引き上げます。爪が気になる場合は、ハンカチなどを添えると良いでしょう。
- ⑤ マウスピースを装着時に話しにくい場合がありますが、練習していただければ治療が進んでゆくにつれて慣れてゆく方がほとんどです。しかし人前で話さなければならない時や、重要な話し合いなど、声がこもってはいけなような場合には、上下のどちらかのマウスピースを外して頂ければ会話はし易くなります。ただしあまり長時間マウスピースを片側だけ装着した状況が続きますと、治療期間が延長する可能性がありますのでご注意ください。
- ⑥ 装着時の痛みにつきましては、その感受性に個人差はありますが、痛みというよりも圧迫されている感じがあるという方がほとんどです。またマウスピースを外した際や、外して食事等で歯をかみ合わせた際に鈍い痛みが生じるケースが稀にあります。しかしこの痛みや圧迫感は従来のブラケット・ワイヤーによる歯列矯正での痛みとはレベルや種類がまったく異なるもので、日数の経過と共に消失してゆきますのでご安心下さい。
- ⑦ 上記の歯の圧迫感で歯が移動しますので、必ずマウスピースが歯にフィットするまでは装着して下さい。浮き上がっている場合には、手でゆっくり押し込んで下さい。
- ⑧ 歯列矯正治療中、マウスピースを取り外した際、咬み合わせに違和感を感じる場合があります。これは歯が移動していることにより起こる現象です。あまりに気になるようでしたらご連絡下さい。
- ⑨ 歯列矯正治療中は、歯間部(歯と歯の間)にすき間ができるためむし歯になりやすい時期があります。すでに当院でブラッシングの指導を受けていらっしゃる方の場合にはその方法で歯ミガキを丁寧に行いましょう。ブラッシングの指導が必要ないと判断された方も、デンタルフロスや歯間ブラシ等を使用して、特に歯間部(歯と歯の間)、歯頸部(歯と歯ぐきの境目付近)の清掃を丁寧に行ってください。

⑩ 歯ミガキ剤を使用される場合はフッ素入りの歯ミガキ剤などを使用し、むし歯の予防に心がけて下さい。

⑪ 一日の装着時間は、

理想的には、食事と歯みがきの時以外はすべて装着していただくこととしますが、

1)スタンダードタイプでは最低**15時間以上**必要です。**20時間以上**が望ましい装着時間です。

2)スピードタイプでは**最低20時間以上**必要です。

睡眠時間、就寝中だけでは装着時間不足となります。睡眠時間に加えて、起きている時間もできるだけ長く装着して下さい。仕事の関係上あまり装着できない場合は、時間が空いている時などを利用して、できるだけ長い時間装着して下さい。装着時間が短いと、歯が適切な位置まで移動しませんので**必ず装着時間はお守り下さい**。なお上記の装着時間については、治療の進行状況や口腔内の状況、その他種々の理由で変更を指示する場合もございますので、変更の指示がありました場合にはその指示に従って下さい。

⑫ スマイルアライナーシリーズのすべてのマウスピースに共通して言えることですが、装着時間とは、上下それぞれのマウスピースについて必要な装着時間のことです。例えば1日に必要な装着時間が15時間という場合、上のマウスピースも15時間、下のマウスピースも15時間それぞれ必要です。上が8時間、下が7時間ではありません。

⑬ 長時間外した状態が続いたり、1日でも装着しなかった日があると、歯が適切な位置に移動しません。歯とマウスピースが浮いた状態になったり、次の番号のマウスピースに交換しても入らなくなる恐れがあります。特に**一日の装着時間が足りない場合にも、次の番号のマウスピースに交換したら入らないという事象が起こる可能性があります**。このような場合には、同じ(現在の)マウスピースをもう1～2週間程度装着した上で(装着時間を十分に確保して下さい)、次の番号のマウスピースに交換してみてください。それでも浮き上がりが大きくなったり、あるいは入らない場合には型取り(印象採得)が必要になりますので、必ずご連絡下さい。型取りの予約を取らせていただきます。

⑭ また、マウスピースの所定の交換日を過ぎて同じ番号のマウスピースを装着し続けると、マウスピースの変形(劣化)が起こってきます。このような場合、歯にマウスピースがピッタリと装着しているように見えても実際にはマウスピースには変形(劣化)が起こっているので、歯の移動は適切には行われません。逆に歯との適合が良いからといって所定の交換日より早く交換し、次々に番号を進めてゆきますと、歯とその周りの骨や組織がマウスピースの形態になじんでいないために、ある番号に進むと突然マウスピースが入らなくなるという事態になる恐れがあります。マウスピースの交換期間や通院のスケジュール等

も含めて、あらゆる面で患者さんの自己管理が大変重要となりますので、当院が指示した場合以外は、マウスピースの交換日は必ずお守り下さい。

Ⅲ マウスピースの取り扱いについての注意事項

- ① マウスピースを装着したままでのお食事は避けて下さい。食事と歯ミガキの際にはマウスピースを外して下さい。また飲み物を飲まれる場合にもマウスピースを外して下さい。ただし、お水は装着したままお飲みいただいても差し支えはありません(熱いお湯やお茶はおやめ下さい)。
- ② 飲み物に関しては、コーヒー、紅茶、緑茶などは色素が付着しやすく、マウスピースが着色する恐れがありますので外してお飲み下さい。またマウスピースを装着したまま糖分を含んだ飲み物を飲まれますと、マウスピースと歯の間に糖分が蓄積し、むし歯の原因になりますので必ず外してお飲み下さい。
- ③ 歯ミガキの際にはマウスピースを外していただくので、ふだんの生活どおりブラッシングしていただくことが可能です。
- ④ マウスピースのお手入れは、毎日歯を磨くように、マウスピースも歯ブラシの毛先を使って軽く磨いてから洗ってください。少し薄めた市販の洗口液(リステリン、モンダミン、クニニカ洗口液等)でぬらして使用していただいても構いません。歯ミガキ粉は使用可能ですが、強くこすりすぎないようにして下さい。また強く洗うと破損の原因になりますのでご注意下さい。
- ⑤ マウスピースの洗浄方法は、水または、ぬるま湯で行い、薬液や義歯洗浄剤などには絶対に浸けないで下さい。変質、劣化の原因となります。熱湯での洗浄はマウスピースが変形しますので絶対におやめ下さい。
- ⑥ 保管は高温多湿を避けて下さい。

Ⅳ マウスピースが壊れた、あるいは変形した場合

- ① 咬む力は人それぞれですが、歯ぎしりや喰いしばり等をされる患者さんは、マウスピースが壊れたり、変形してしまうことがあります。
- ② 壊れた、あるいは変形してしまった場合、次の番号のマウスピースが入るかどうかが装着してみてください。きつかったとしても、入ればそのままその番号から治療を継続できますので、引き続き装着、交換して行って下さい。もし入らない場合には型取り(印象採得)が必要になりますので、必ずご連絡下さい。型取りの予約を取らせていただきます。ご来院の日には必ず現在使用している番号とそれ以降の分のマウスピースをご持参下さい。もしご持参いただけない場合には、紛失とみなし、下記の「Ⅵ マウスピースを紛失してしまった場合」と同様の対応となり、再製作費用を頂戴することになります(後で見つかった場合でも返金はできません)ので予めご了承下さい。

Ⅴ マウスピースが入らなくなった場合

- ① 前述のように、特に一日の装着時間が足りない場合等により、次の番号のマウスピースに交換したら入らないという事象が起こる可能性が稀にあります。また特に若年の方(小学生の高学年～20歳代前半くらいまで)につきまちは、前から7番目の永久歯(第二大臼歯、俗に「12歳臼歯」とも呼ばれます)が生えてくる際に歯列を押し出すことがあり、そ

れに伴い歯列の形が変化することによりマウスピースが入らなくなることがあります。また親知らず(第三大臼歯)が生えてくる際にも同様の事象が起こる可能性があります。

② このような場合にも、壊れた、あるいは変形してしまった場合と同様に、同じマウスピースをもう1～2週間程度装着した上で(装着時間は十分にお取りください！)、次の番号のマウスピースに交換してみてください。それでも浮き上がりが大きくなったり、あるいは入らない場合には型取り(印象採得)が必要になりますので、必ずご連絡下さい。型取りの予約を取らせていただきます。この場合にもご来院の日には必ず現在使用している番号とそれ以降の分のマウスピースをご持参下さい。もしご持参いただけない場合には、紛失とみなし、下記の「VI マウスピースを紛失してしまった場合」と同様の対応となり、再製作費用を頂戴しなければならないこととなります(後で見つかった場合でも返金はありません)ので予めご了承下さい。

③ 上記とは別に、他院で治療を受けられたことによって、後の(続きの)マウスピースが入らなくなる可能性があります。この場合治療の時期にもよりますが、多くは再度の型取り(印象採得)と1クール分の再製作が必要になりますので、その費用として60,000円(消費税別)を頂戴することになります。当院での一般歯科治療による場合にはこの再製作費用は不要ですので、他院での治療をお考えの場合には、この点をお含み置きの上ご検討下さい。

VI マウスピースを紛失してしまった場合

① 紛失しないように、装置を外している場合は専用ケースに保管してください。特にティッシュなどにくるんだ状態で保管していると、間違って捨ててしまいやすいのでご注意下さい。

② 壊れた(あるいは変形した)時と同様に、次の番号のマウスピースが入るかどうかが装着してみてください。きつかったとしても、入ればそのままその番号から治療を継続できますので、引き続き装着、交換して行って下さい。もし入らない場合には再製作と型取り(印象採得)が必要になりますので、必ずご連絡下さい。型取りの予約を取らせていただきます。

④ マウスピースを紛失した場合におきましては、この**再製作が必要と判断された場合(再製作が不要の場合には費用の発生はありません) についてのみ、再製作費用(1回でマウスピースをお渡しする、いわゆる1クール分、50,000円～最大60,000円まで、消費税別)が別途発生します。再製作費用のお支払いは現金(ご持参もしくはお振込)のみとなり、ご入金確認後に製作し、お渡しします。なお後で見つかった場合でも返金できません。**予めご了承下さい。

⑤ また再製作に関して、何らかの緊急の対応(例えば出張診療日等で、途中で切り上げたり、またキャンセルして当院に戻って再製作作業を行った、あるいは時間外や休診日の診察を行った等)を行った場合につきましては、上記の再製作費用に加えて、追加の費用を別途請求させていただく場合があります。

Ⅶ マウスピースの順番がわからなくなった場合

- ① 下図のように、マウスピースの奥歯の表側(ほっぺた側)に数字が印記されています。
図は3番のマウスピースです。



Ⅷ その他

- ① 治療途中の段階では、歯を動かした後に歯の周りの骨と組織(歯ぐき)を落ち着かせて骨を造る(造骨、ぞうこつといいます)しくみを働かせるために、歯を移動させない(移動なし)マウスピースを間にはさんだ上で治療を進めることがあります。この治療途中の「移動なし」マウスピースにおきましても必ず上記の装着時間を厳守して下さい。
- ② 遠方の方や、お忙しい等の理由でご来院できない際には、マウスピースを発送することも可能ですが、その場合の送料は理由の如何にかかわらず、すべて着払い(患者様のご負担)とさせていただきます。運送に伴う、あるいは配達上の事故やトラブル等につきましては、当院は一切その責任を負いません。その場合には、再製作にて、場合によってはお越しいただいて型取りを行った上で再製作し、対応いたします。追加料金の発生はございませんが、再製作期間をいただく分治療期間が延長する可能性はご了承下さい。また発送できる地域は日本国内の、配送業者さん(原則としてクロネコヤマト宅急便を使用)が配送可能と判断した地域とします。海外への発送は行っておりません。予めご了承下さい。
- ③ マウスピースに使用するシートの種類や厚さ、またマウスピースの形状、デザインないしは歯を覆う範囲につきましては、口腔内の状況や歯の移動の状況に応じて変えてゆくことがあります。
- ④ 使用済みのマウスピースをご自身で廃棄される場合には、お住まいの地域のルールに従って行って下さい。当院で廃棄することも可能ですので、その場合には次回ご来院の際にご持参下さい。交換後すぐに廃棄するのではなく、現在使用中のマウスピースの1組前、もしくは2組前までの分を残して(それよりも以前の分を)廃棄されることをお奨めいたします。
- ⑥ マウスピースの修理、調整、もしくは形態の修正を行う場合につきましては、原則としてお預かりして行い、後日(概ね翌週以降)お渡することとします(料金はかかりません)。当日の修理、調整もしくは形態修正はできない場合が多いですので悪しからず

ご了承下さい。また修理、調整、もしくは形態の修正に関しても、再製作の場合と同様に、何らかの緊急の対応(例えば出張診療日等で、途中で切り上げたり、またキャンセルして当院に戻って修理、調整、もしくは形態の修正作業を行った、等)を行った場合につきましては、緊急対応費用を別途請求させていただく場合があります。